

京都造形芸術大学 SDGs 推進室 特別講義



SDGs × ARTS

京都・日本の文化に秘められた知恵を活かした人類の持続可能性と世界平和の実現

持続可能な開発目標（SDGs）とは、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）の後継として、2015年9月の国連サミットで採択され、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された、持続可能な社会を実現するための17のグローバル目標と169のターゲットからなる、国際目標です。

今回、京都造形芸術大学 SDGs 推進室室長で国連の友 SDGs 文化推進委員会委員長でもある田中朋清氏と、本学の客員教授で地域活性学会会長でもある中嶋聞多氏をお迎えして、SDGs が目指す社会とはどういったものか。また、SDGs におけるアート・デザインが果たす役割についてお話いただきます。

<講義テーマ>

【田中 朋清氏】

- ・持続可能な開発目標（SDGs）とは何か、本学における SDGs の活動について

【中嶋 聞多氏】

- ・SDGs と地域活性化の具体的事例、地域活性化になぜデザインが必要なのか

<講義詳細>

日時：2020年1月17日（金）18：10～19：30

会場：人間館 NA102 教室

参加申込み方法：1月16日（木）17時までに、QRコードからお申し込みください。

※URL：<https://forms.gle/9FvCCJukcwxANW1q7> からもお申込みいただけます。



田中 朋清（たなか ともしよ）

京都造形芸術大学 SDGs 推進室室長

SDGs 文化推進委員会委員長

現職：石清水八幡宮権宮司、一般財団法人石清水なつかしい未来創造事業団理事長、お茶の京都 DMO 一般社団法人京都山城地域振興社取締役

京都府八幡警察署協議会会長、京都府地域で輝く女性応援会議委員、京都産業大学日本文化研究所客員研究員、京都大学こころの未来研究センター研究員、公益財団法人ボーイ・スカウト日本連盟宗教代表者、一般社団法人日本国際文化協会顧問、世界連邦日本宗教委員会事務局長、神社本庁参与



中嶋 聞多（なかじま もんた）

信州大学特任教授として複数の重要プロジェクトを遂行するとともに、慶應義塾大学特別招聘教授、新潟薬科大学特別招聘教授などを歴任、また自治体・民間企業等の地域活性化アドバイザー・顧問としても活躍中。2008年に設立された地域活性学会（現在の会員数約1,000人）において理事、副会長を経験した後、2017年9月、第3代会長に就任。2019年8月、初の公選理事会によって会長に再任された。また2019年4月から、京都造形芸術大学客員教授もつとめる。現在、地域活性化支援のために全国各地を駆け回っている。